

科目名：社会福祉原論Ⅰ

担当教員：高橋 英樹、大内 章嗣、中村 健

開講番号：200DA301

開講学期：第1学期

水準：13

単位数：2単位

対象学部等：口腔生命福祉学科3年生

### 【科目概要】

「社会福祉」の形成過程を理解し、システムとしての社会福祉を構成する政策・制度・援助活動の関連を把握することにより、社会福祉の各分野の学習に必要な基礎概念を習得する。

### 【科目のねらい】

現代社会における福祉制度の意義や理念、および福祉の原理をめぐる理論と哲学を理解する。その上で、福祉政策におけるニーズ、資源、課題、構成要素、関連政策、相談援助活動との関係を体系的に学修し、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、地域福祉などの各領域を学ぶ基礎を身に付ける。

### 【学習の到達目標】

- ・現代社会における福祉制度の意義、理念、福祉政策との関係を例示的に説明する。
- ・社会福祉の形成過程におけるトピックを挙げて、それらが現在の社会福祉にどのような影響を与えているか例示的に説明する。
- ・福祉政策の課題を列挙する。
- ・福祉政策の構成要素および福祉政策と関連する社会政策を列挙し、例示的に説明する。
- ・社会福祉における相談援助の機能について、福祉政策・制度との関連のなかで例示的に説明する。

### 【授業形態】

資料等を用いて講義を行う。なお、主に想起レベルの知識の習得を目標にしているため、授業の間に学習した内容に関するレポートを課すなどの手段を用いて、学習の到達状況を学生にフィードバックしていく。

### 【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	準備学習(予習範囲)
1	4/9(木) 1-2限	福祉政策と社会問題(高橋)	どのような事象が「社会問題」とされているのか、その項目と理由を口頭で説明できるよう準備する。
2	4/10(金) 3-4限	ニーズと資源(高橋)	“need”と“demand”の違いを口頭で説明できるよう準備する。
3	4/16(木) 1-2限	近代社会と福祉(高橋)	「近代」と「近代以前」とは、何によって区分されるかを口頭で説明できるよう準備する。
4	4/23(木) 1-2限	現代社会と福祉(高橋)	社会福祉との関連において、現代社会の重要な社会問題とは何かを口頭で説明できるよう準備する。
5	4/29(水) 3-4限	関連政策(高橋)	社会福祉に関連する「社会政策」には具体的に何があるのかを、口頭で説明できるよう準備する。
6	4/30(木) 1限 2限	福祉政策の現代的課題(中村) 福祉政策の国際動向(大内)	「福祉レジーム」論に用いられる「自由主義」、「社会民主主義」、「保守主義」とは何に価値をおく考え方なのか、口頭で説明できるよう準備する。
7	5/1(金) 3-4限	供給過程と利用過程(高橋)	社会福祉の理念が実現されるためには、政策や制度の他に何が必要であるのか、口頭で説明できるよう準備する。
8	5/13(水) 3限 4限	社会福祉の理論(高橋) 筆記試験(高橋)	第7回までの講義内容の復習。

### 【成績評価の方法と基準】

筆記試験(50%)、レポート(50%)で評価する。

### 【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

### 【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

**科目名：**社会福祉現場実習指導 I  
**担当教員：**高橋 英樹、大内 章嗣、米澤 大輔  
**開講番号：**200DA302                      **開講学期：**第1学期                      **水準：**14  
**単位数：**2単位                      **対象学部等：**口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**  
 相談援助機関等の役割、機能および相談援助の実際について、見学などを通して体験的に学習する。また、専門職に必要な相談援助の理論と方法を学習し、社会福祉現場に必要な知識を身に着ける。  
 ※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

**【科目のねらい】**  
 相談援助実践の場の見学などを通じて、利用者等のニーズと生活課題および援助実践に必要な態度・知識・技能について理解を深める。また、相談援助活動に必須の基本的な態度と相談援助の目的、価値、原則を体系的に理解する。

- 【学習の到達目標】**
- ・相談援助の専門機関などの機能・役割を例示的に説明する。
  - ・相談援助専門職が配置されている機関などについて、その概要を施策体系にそって説明する。
  - ・援助対象者の理解について、ニーズと生活課題にそって例示的に説明する。
  - ・相談援助の目的、価値、原則について、要点を列挙する。

**【授業形態】**  
 本ユニットは、見学実習、体験発表、講義、演習など多様な形態の授業をとおして、社会福祉の現場に必要な知識および技能を学習する。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容(担当)	準備学習(予習範囲)
1	4/8(水) 1-2限 3-4限	オリエンテーション(高橋) 見学実習先概要講義(高橋)	
2	4/15(水) 1-4限	見学実習:特別養護老人ホームなかかんの里(米澤)	特別養護老人ホームに関する基礎概念を整理。
3	4/17(金) 1-4限	見学実習:新潟市社会福祉協議会(高橋)	市町村社会福祉協議会に関する基礎概念を整理。
4	4/22(水) 1-4限	見学実習:新潟県障害者交流センター(米澤)	身体障害者福祉センターA型に関する基礎概念を整理。
5	4/24(金) 1-4限	見学実習:新潟県中央福祉相談センター(高橋)	児童相談所、障害者更生相談所、婦人相談所および婦人保護施設に関する基礎概念を整理。
6	5/14(木) 1-2限	見学実習のディスカッション・発表(高橋)	見学実習を経験しての理解の深まりを言語化し、発表できる準備。
7	5/21(木) 1-2限	ソーシャルワークの成立と展開1(高橋)	社会福祉原論の講義内容の復習。
8	5/28(木) 1-2限	ソーシャルワークの成立と展開2(高橋)	社会福祉原論の講義内容の復習。
9	6/10(水) 1-2限	ソーシャルワークのプロセス1(高橋)	「ソーシャルワークの成立と展開」の復習。
10	6/17(水) 1-2限	ソーシャルワークのプロセス2(高橋)	「ソーシャルワークの成立と展開」の復習。
11	6/24(水) 1-2限	ソーシャルワークの実践モデル1(高橋)	「ソーシャルワークのプロセス」の復習。
12	7/1(水) 1-2限	ソーシャルワークの実践モデル2(高橋)	「ソーシャルワークのプロセス」の復習。
13	7/8(水) 1-2限	ソーシャルワークにおける面接技術1(高橋)	「ソーシャルワークのプロセス」「ソーシャルワークの実践モデル」の復習。
14	7/15(水) 3-4限	ソーシャルワークにおける面接技術2(高橋)	「ソーシャルワークのプロセス」「ソーシャルワークの実践モデル」の復習。
15	9/2(水) 3限 4限	ソーシャルワークの理論(高橋) 筆記試験	第7回から第14回までの講義の復習。

**【成績評価の方法と基準】**  
 レポートおよび発表(50%)、筆記試験(50%)で評価する。

**【使用テキスト】**  
 特定の教科書は使用しない。

**【参考文献】**  
 参考文献については授業のなかで適時紹介する。

**科 目 名：**社会保障入門（社会保障論／公的扶助論）

**担 当 教 員：**大内 章嗣、黒川 孝一、中村 健

**開 講 番 号：**200DA303／200DA304      **開 講 学 期：**第1学期      **水 準：**14

**単 位 数：**2単位／2単位      **対 象 学 部 等：**口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**

[社会保障論]

社会保障の理念・意義・発達史・体系等について理解するとともに、我が国の社会保障を構成する各制度の目的・対象・具体的内容等について学習する。

[公的補助論]

日本国憲法第25条が保障するナショナルミニマムを確保するための基本制度である生活保護制度を中心とした我が国の公的扶助について学習する。

**【科目のねらい】**

[社会保障論]

現代社会における社会保障の理念・意義、体系および発達史について理解するとともに、我が国の社会保障の各制度の目的・対象・具体的内容および実施体制等について、社会保険制度（年金、医療、雇用、労災、介護）を中心に習熟する。

[公的扶助論]

生活保護制度を中心とした公的扶助の理念・意義およびその仕組み、近年の動向について理解するとともに、生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方について理解する。

**【学習の到達目標】**

[社会保障論]

- ・ 社会保障の概念・範囲および発達史（日本および諸外国）について概説できる。
- ・ 社会保障制度の機能と体系について概説できる。
- ・ 社会保障を構成する各制度（年金、医療保障、介護保険、労働保険、社会手当、公的扶助、社会福祉、その他関連制度）の概要について説明できる。
- ・ 我が国の年金制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・ 我が国の医療保険制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・ 我が国の介護保険制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・ 我が国の労働保険制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・ 我が国の民間保険の概要と公的施策との関連について概説できる。
- ・ 我が国の社会保障の課題と動向について概説できる。

[公的扶助論]

- ・ 公的扶助の概念・範囲および発達史について概説できる。
- ・ 児童手当、児童扶養手当等の社会手当の内容等について概説できる。
- ・ 生活困窮者自立支援等の低所得者対策の内容等について概説できる。
- ・ 生活保護制度の目的、基本原理、保護の原則について概説できる。
- ・ 生活保護の種類と内容、生活保護基準および財源について概説できる。
- ・ 保護の実施機関と実施体制および関連分野の専門職等との連携のあり方を概説できる。
- ・ 被保護者の権利及び義務について概説できる。
- ・ 生活保護の実際について事例に基づいて考察できる。

**【授業形態】**

講義およびグループワーク、小グループによるPBL学習を組み合わせ学習する。

**【履修上の注意】**

近年、社会保障関係制度は大幅な改正が頻繁に行われているので、厚生労働省HP等、できるだけ最新の情報源から学習するよう心掛けること。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	5/15（金）3-4限	オリエンテーション 講義：社会保障全体像（歴史・概念・体系）について（大内）	平成29年厚生労働白書 第1部第1章p4～37を読み、要点を整理しておく。
2	5/20（水）3-4限	講義：公的扶助・社会福祉制度（社会手当、公的扶助、社会福祉、その他）の目的・内容等の概要（中村）	生活保護および各種手当制度（児童手当等）について調べ、要点を整理しておく。
3	5/22（金）3-4限	講義：社会保険制度（年金、医療、雇用、労災、介護）の目的・内容等の概要（大内）	年金保険、医療保険、介護保険制度の概要について調べ、要点を整理しておく。

4	5/27 (水)	3-4 限	講義：我が国の年金制度について (大内)	国民年金と厚生年金の対象 (被保険者)、給付内容について調べ、違いを整理しておく。第4回の講義内容を復習、整理しておく。
5	5/29 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ1 (年金) 提示 (FC) グループ学習	
6	6/3 (水)	1-2 限	講義：我が国の医療保障・介護保険・労働保険について (黒川)	医療保険を構成する各保険者の違い (被保険者、根拠法、運営主体) について整理しておく。
7	6/5 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ1 (年金) グループディスカッション (FC) 講義：民間保険等との関係・社会保障の実施体制について (大内)	設定した学習課題について各自調べ、発表できるように整理しておく。 社会保障の機能および社会保険と民間保険の違いについて整理しておく。
8	6/10 (水)	3-4 限	グループワーク：我が国の社会保障の課題と動向 (大内)	これまでの講義・学習内容を復習、整理しておく。
9	6/12 (金)	3-4 限	講義：公的扶助について (中村)	生活保護および生活困窮者自立支援制度について調べ、要点を整理しておく。
10	6/17 (水)	3-4 限	グループワーク・発表：我が国の社会保障の課題と動向 (大内、中村)	第8回の授業で指定された課題について、発表用スライドを作成し、発表の準備をしておく。
11	6/19 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ2 (公的扶助1) 提示 (FC) グループ学習	生活保護の保護決定に至る手続について調べ、要点をまとめておく。
12	6/24 (水)	3-4 限	PBL：シナリオ2 (公的扶助1) グループ学習	設定した学習課題について各自調べ、疑問点等を整理しておく。
13	6/26 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ2 (公的扶助1) グループディスカッション (FC) シナリオ3 (公的扶助2) 提示 (FC)	設定した学習課題について各自追加学習し、発表できるように整理しておく。 生活困窮者自立支援の各内容と実施関係機関の役割について整理しておく。
14	7/1 (水)	3-4 限	PBL：シナリオ3 (公的扶助2) グループ学習	設定した学習課題について各自調べ、疑問点等を整理しておく。
15	7/3 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ3 (公的扶助2) グループディスカッション (FC) PBL：シナリオ2・3の学習成果まとめ	設定した学習課題について各自追加学習し、発表できるように整理しておく。
16	7/8 (水)	3-4 限	PBL：シナリオ2・3の学習成果発表・講師とのディスカッション・補足講義 (中村、大内)	シナリオ2・3の学習成果の発表準備をしておく。

**【成績評価の方法と基準】**

**[社会保障論]**

筆記試験 (選択式および記述式) (90%) を基本に、学習態度 (10%) を加味して総合評価する。合格基準の詳細は第1回の授業時に説明する。

**[公的扶助論]**

筆記試験 (選択式および記述式) (90%) を基本に、学習態度 (10%) を加味して総合評価する。合格基準の詳細は第1回の授業時に説明する。

なお、PBL学習に関し、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

**【使用テキスト】**

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

**【参考文献】**

厚生労働統計協会 編「国民の福祉と介護の動向」厚生労働統計協会 (2,037円)

厚生労働統計協会 編「保険と年金の動向」厚生労働統計協会 (2,130円)

福祉士養成講座編集委員会 編「社会保障」中央法規出版 (2,600円)

福祉士養成講座編集委員会 編「低所得者に対する支援と生活保護制度」中央法規出版 (2,200円)

**【参考Webサイト】**

厚生労働省監修「厚生労働白書」 [https://www.mhlw.go.jp/toukei\\_hakusho/hakusho/](https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/)

科 目 名：児童福祉総論（児童福祉論Ⅰ／社会福祉援助技術論Ⅰ）

担 当 教 員：米澤 大輔、高橋 英樹、石橋 一（非）、小嶋 眞（非）、藤田 智子（非）

開 講 番 号：200DA305／200DA306 開 講 学 期：第1学期 水 準：14

単 位 数：2単位／2単位 対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科3年生

### 【科目概要】

#### 〔児童福祉論Ⅰ〕

児童福祉の歴史と理念、現代社会と児童、児童家庭の実態、児童福祉に関する法、児童家庭福祉施策と実施体制、児童に対する相談援助活動の実際について学習する。

#### 〔社会福祉援助技術論Ⅰ〕

ソーシャルワークの概念と定義を学び「総合的かつ包括的な相談援助」の理論と実際について学習する。

### 【科目のねらい】

#### 〔児童福祉論Ⅰ〕

現代社会における児童福祉の理念と意義について理解するとともに、児童福祉を取り巻く社会の変化と少子化社会における施策の動向・背景について理解する。また、児童福祉に関する法とサービス体系について理解し、児童福祉および関連分野の専門職との連携の実際について認識する。

#### 〔社会福祉援助技術論Ⅰ〕

児童家庭福祉における福祉援助活動の展開過程を通して、児童に対する相談援助活動の実際について理解する。

### 【学習の到達目標】

#### 〔児童福祉論Ⅰ〕

- ・児童福祉理念の変遷、児童の定義、児童の権利について説明できる。
- ・児童福祉の歴史について説明できる。
- ・母子保健、保育対策について説明できる。
- ・児童の発達、成長について家族、社会の脈絡の中で概説できる。
- ・児童家庭の福祉需要（子育て、子ども虐待及びDV等）とその把握方法について説明できる。
- ・児童福祉に関する法の体系とその具体的内容、関連法規について概説できる。
- ・児童に対する保健・医療・福祉サービスの体系と連携について説明できる。
- ・次世代育成支援対策について説明できる。
- ・市町村における児童家庭福祉相談について説明できる。
- ・地域における子育て支援、青少年育成支援について説明できる。
- ・児童虐待、DV、要保護児童の自立支援について説明できる。

#### 〔社会福祉援助技術論Ⅰ〕

- ・児童家庭福祉相談におけるインテーク、アセスメント、社会調査の概要について説明できる。
- ・児童家庭福祉相談の援助過程について説明できる。
- ・児童家庭福祉相談における組織・専門職の役割と連携の実際について概説できる。

### 【授業形態】

- ・小グループによるPBL学習及び講義、演習を組み合わせ学習する。
- ・PBL学習の効果を高めるために併用する講義、演習では一部事前あるいは事後のレポート提出を求める。

### 【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	6/4（木）	1限 講義：児童福祉の歴史と理念の変遷（高橋）	2年次または3年次に行った児童福祉施設見学実習の復習
		2限 講義：現代社会と児童家庭福祉（高橋）	
2	6/11（木）	1限 PBL：シナリオ1提示（市町村における児童家庭相談）（FC）	市町村における児童福祉の要点整理
		2限 講義：地域における子育て支援と保育所の役割（藤田）	
3	6/18（木）	1-2限 PBL：シナリオ1グループ学習	市町村における児童福祉の復習
4	6/25（木）	1限 PBL：シナリオ1グループ討議（FC名）	第2回の講義内容の復習
		2限 PBL：シナリオ2提示（子育て支援と手当）（FC）	
5	7/2（木）	1-2限 PBL：シナリオ2グループ学習	子育て支援と手当の要点整理
6	7/9（木）	1限 PBL：シナリオ2グループ討議（FC）	子育て支援と手当の復習
		2限 PBL：シナリオ1・2まとめ（米澤）	
7	7/10（金）	3限 PBL：シナリオ1・2発表とまとめセミナー（米澤）	発表の準備
		4限 講義演習：児童福祉の法（高橋）	
8	7/15（水）	3限 講義：地域母子保健活動と児童福祉（米澤）	母子保健と児童福祉の要点整理
		4限 PBL：シナリオ3提示（非行）（FC3名）	
9	7/16（木）	1-2限 PBL：シナリオ3グループ学習	非行について要点整理

10	7/17 (金)	3限 4限	講義・演習 (児童福祉専門職と機関連携1 非行) (未定) 講義・演習 (児童福祉専門職と機関連携2 虐待・DV) (未定)	児童相談所の概要復習
11	7/21 (火)	3限 4限	PBL: シナリオ3 グループ討議 (FC) PBL: シナリオ4 提示 (子ども虐待) (FC)	第10回の講義内容の復習
12	9/1 (火)	1-2限	PBL: シナリオ4 グループ学習	子ども虐待の要点整理
13	9/3 (木)	1限 2限	PBL: シナリオ4 グループ討議 (FC) PBL: シナリオ3・4まとめ (米澤)	子ども虐待について復習
14	9/4 (金)	3限 4限	PBL: シナリオ3・4発表とまとめセミナー (米澤) PBL: シナリオ5 提示 (少子化対策と次世代育成支援) (FC)	発表準備
15	9/8 (木)	1-2限	PBL: シナリオ5 グループ学習	次世代育成支援について要点整理
16	9/10 (木)	1-2限	講義: 社会的養護と里親制度 (石橋)	児童福祉施設の概要整理
17	9/11 (金)	3限 4限	PBL: シナリオ5 グループ討議 (FC) 総括: これからの児童家庭福祉の課題 (米澤)	児童福祉施設の概要復習

### 【成績評価の方法と基準】

#### 〔児童福祉論Ⅰ〕

筆記試験による総合的評価 (選択式および記述式) を行う (100%)。

#### 〔社会福祉援助技術論Ⅰ〕

筆記試験による総合的評価 (選択式および記述式) を行う (100%)。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

### 【使用テキスト】

指定しない。

### 【参考文献】

社会福祉学習双書編集委員会 編「社会福祉学習双書 児童家庭福祉論」全国社会福祉協議会 (2,420円)

高橋 重宏・他著「子ども家庭福祉とソーシャルワーク (第3版)」有斐閣 (2,420円)

厚生労働統計協会 編「国民の福祉の動向」(2,400円)

社会福祉新聞、日刊紙 等

### 【参考Webサイト】

厚生労働省監修「厚生労働白書」 [https://www.mhlw.go.jp/toukei\\_hakusho/hakusho/](https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/)

科目名：歯科衛生学実習Ⅱ

担当教員：米澤 大輔、山崎 和久、葭原 明弘、多部田 康一、小川 祐司、奥田 一博、柴田 佐都子、小田島 あゆ子、杉田 典子、伊藤 晴江、小松 康高、野中 由香莉、諏訪間 加奈、原 実生、山田 麻衣子(病)、植木 麻有子(病)、駒澤 美幸(病)

開講番号：200DA307

開講学期：第1学期

水準：14

単位数：3単位

対象学部等：口腔生命福祉学科3年生

### 【科目概要】

保健指導計画（個別指導、集団指導）や歯科衛生計画の作成を通し、学外での集団指導の実践および歯科衛生課程について学ぶ。また、予防処置（歯石除去）について、講義や実習を通して総合的に学習する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

### 【科目のねらい】

対象者別の歯科保健指導計画と歯科衛生課程を通して、集団指導や個別指導における対象者に適した指導方法を理解し、対象者のニーズにあった支援を提供するために、論理的に思考し、問題を解決する知識・技術を習得する。予防的歯石除去に必要な基礎知識ならびに技術、態度、具体的処置について理解し、個別や集団など対象者別に予防処置を計画する。

### 【学習の到達目標】

#### ＜歯科保健指導＞

- ・集団指導を行う場合、対象者を把握して指導内容、会場設営、使用媒体などを計画し、適切な手法で実施することができる。
- ・対象者の状態に配慮して歯科保健指導の計画を立て、適切なコミュニケーション方法で歯科保健指導を行うことができる。
- ・歯科衛生士業務記録や指導内容から、患者の問題点、今後の指導方針について説明することができる。

#### ＜歯科衛生過程＞

- ・歯科衛生過程の概念・構成要素を説明することができる。
- ・事例から、対象者の情報を抽出・分類・整理し、問題を明確化し、優先順位をつけることができる。
- ・事例を用いて歯科衛生計画の一連の流れ（目標設定、歯科衛生介入、評価）を実施することができる。

#### ＜歯科予防処置（歯石除去）＞

- ・超音波スケーラー、エアースケーラーの特徴を把握し、歯肉縁上歯石を除去できる。
- ・ルートプレーニングを模型において実施することができる。
- ・PMTCを実施することができる。
- ・歯周病に関する検査（歯周疾患の指標、歯周ポケット測定、歯の動揺度測定、歯肉出血度、付着歯肉幅等）を実施することができる。

### 【授業形態】

- ・基礎実習、相互実習、グループ討議等を行う。実習の具体的な手技は事前に配布する資料に従い、実習前に各自で学習しておくこと。
- ・2年生で学んだ歯科の知識をもとに、対象者に即した歯科保健指導計画を立て実施する。

### 【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
＜歯科保健指導・歯科衛生課程＞			
1	4/16（木）3-4限	ライフステージごとの歯科保健指導（米澤・諏訪間）	ライフステージごとの歯科保健指導の要点整理
2	4/23（木）3-4限	集団指導内容（米澤）	集団指導内容について要点整理
3	4/30（木）3-4限	集団指導計画1（諏訪間）	集団指導計画について要点整理
4	5/7（木）3-4限	集団指導計画2（対象者把握の注意点）（米澤・柴田）	対象者把握の注意点について要点整理
5	5/12（火）1-2限	集団指導対象者把握（米澤・諏訪間）	集団指導対象者把握について要点整理
6	5/14（木）3-4限	集団指導計画3（諏訪間・米澤）	集団指導計画について概要整理
7	5/19（火）1-2限	集団指導計画4（米澤・小田島）	集団指導計画の要点整理
8	5/21（木）3-4限	集団指導計画5（小田島）	集団指導計画の復習
9	5/28（木）3-4限	集団指導リハーサル1（米澤・柴田・小田島）	発表準備
10	6/4（木）3-4限	集団指導リハーサル2（米澤・葭原・諏訪間）	発表準備
11	6/9（火）1-2限	集団指導（幼稚園本番）（米澤・諏訪間・小田島）	集団指導（幼稚園本番）の復習
12	6/11（木）3-4限	歯科衛生課程導入1（柴田・諏訪間）	歯科衛生課程導入1の要点整理
13	6/18（木）3-4限	歯科衛生課程2（諏訪間・柴田）	歯科衛生課程導入2の要点整理
14	6/25（木）3-4限	歯科衛生課程3（諏訪間・柴田）	歯科衛生課程導入3の要点整理
15	7/2（木）3-4限	歯科衛生課程4（柴田・諏訪間）	歯科衛生課程導入4の要点整理
16	7/9（木）3-4限	歯科衛生課程5（柴田・諏訪間）	歯科衛生課程導入5の要点整理

17	7/22 (水) 3-4 限	WHOが提唱する簡易型禁煙支援 (小川・小田島)	WHOが提唱する簡易型禁煙支援の要点整理
18	9/1 (火) 3-4 限	後期臨床実習のための実習1 (米澤・山田・植木・駒澤・柴田・小田島)	後期臨床実習のための実習の要点整理
19	9/8 (火) 3-4 限	後期臨床実習のための実習2 (米澤・山田・植木・駒澤・諏訪問)	後期臨床実習のための実習の復習
〈予防処置 (歯石除去)〉			
20	4/9 (木) 3-4 限	講義: 歯周疾患の指標・検査 (山崎・伊藤)	歯周疾患の指標・検査の要点整理
21	4/14 (火) 3-4 限	細菌性プラークと炎症、咬合性因子と咬合調整 (多部田・奥田)	細菌性プラークと炎症、咬合性因子と咬合調整の要点整理
22	4/21 (火) 3-4 限	歯周疾患と関連する全身疾患、薬物療法、根分岐部病変 (山崎・杉田)	歯周疾患と関連する全身疾患、薬物療法、根分岐部病変の要点整理
23	4/28 (火) 3-4 限	歯周疾患の指標・検査 (基礎実習) (山崎)	歯周疾患の指標・検査 (基礎実習)の要点整理
24	5/12 (火) 3-4 限	エックス線写真読影 (講義・基礎実習) (山崎)	エックス線写真読影 (講義・基礎実習)の要点整理
25	5/19 (火) 3-4 限	歯周疾患の指標・検査 (相互実習) (山崎・柴田)	歯周疾患の指標・検査 (相互実習)の要点整理
26	5/26 (火) 3-4 限	相互実習: スケーリング1 (山崎・原・米澤)	スケーリング1の要点整理
27	6/2 (火) 3-4 限	相互実習: スケーリング2 (山崎・小田島)	スケーリングの復習
28	6/9 (火) 3-4 限	スケーリング・ルートプレーニング (基礎実習・小試験) (山崎・米澤)	スケーリング・ルートプレーニングの要点整理
29	6/16 (火) 3-4 限	スケーリング・ルートプレーニング (相互実習) (山崎・小松・諏訪問)	スケーリング・ルートプレーニングの復習
30	6/23 (火) 3-4 限	歯周手術、メンテナンスと歯周安定期治療 (講義・小試験) (山崎・小松)	歯周手術、メンテナンスと歯周安定期治療の要点整理
31	6/30 (火) 3-4 限	メンテナンスと歯周安定期治療 (相互実習①) (山崎・原・小田島)	メンテナンスと歯周安定期治療の要点整理
32	7/7 (火) 3-4 限	メンテナンスと歯周安定期治療 (相互実習②) (山崎・原・米澤)	メンテナンスと歯周安定期治療の復習
33	7/14 (火) 3-4 限	歯周疾患治療計画 (講義・グループディスカッション) (山崎・野中)	歯周疾患治療計画の要点整理
34	7/16 (木) 3-4 限	歯周疾患治療計画 (症例検討) (山崎・野中)	発表準備

**【成績評価の方法と基準】**

歯科保健指導 (33.3%)、歯科衛生過程 (33.3%)、歯科予防処置 (33.3%) でそれぞれ評価を行う。それぞれの評価基準は次のとおりとする。

- 〈歯科保健指導〉 実習における取り組み姿勢 (40%)、実習日誌 (30%)、レポート (30%) により評価する。
- 〈歯科衛生過程〉 実習における課題レポート (100%) により評価する。
- 〈歯科予防処置〉 実技試験 (50%) および筆記試験 (50%) により評価する。

**【使用テキスト】**

- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 (8,360円)
- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯周疾患歯周治療」医歯薬出版 (3,850円)
- 新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断再建学分野 編「歯周病学実習のストラテジー」(4,100円)

**【参考文献】**

- 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理、全国歯科衛生士教育協議会編、医歯薬出版、3,520円。
- 歯科衛生士のための高齢者歯科学、渡邊誠・岩久正明監著、永末書店、2,970円。
- 歯科保健指導関係資料集、歯科保健医療研究会、口腔保健協会、3,300円。
- 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド、佐藤陽子・斎藤淳編著、医歯薬出版、3,300円
- よくわかる歯科衛生過程、全国歯科衛生士教育協議会、医歯薬出版、3,520円
- 臨床歯周病学、吉江弘正 伊藤公一 村上伸也 申基喆 編、医歯薬出版、11,000円。



科目名：歯科衛生士臨床実習Ⅰ

担当教員：柴田 佐都子、葭原 明弘、米澤 大輔、諏訪間 加奈、小田島 あゆ子、田中 美央（保）、平野 真弓（非）、近藤 淳子（病）

開講番号：200DA308

開講学期：第1学期

水準：14

単位数：2単位

対象学部等：口腔生命福祉学科3年生

### 【科目概要】

様々な対象者に対する歯科保健指導方法や学校歯科健康診査の意義について学ぶ。

実習は、歯科保健指導・歯科予防処置・歯科診療補助の見学（新潟大学医歯学総合病院）、学校歯科健康診査、保健福祉センターにおける地域歯科保健指導実習を実施する。なお、保健福祉センターにおける実習は、新潟市の歯科保健事業計画に基づいて実施する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

### 【科目のねらい】

臨地および臨床において歯科衛生士業務を行うために、歯科保健指導、歯科予防処置および歯科診療補助に必要な基本的知識・技術・態度を習得する。

### 【学習の到達目標】

- ・ 歯科保健指導および歯科予防処置を行うために必要な情報を収集（問診、口腔内観察、診療録など）する。
- ・ 歯科保健指導の目標を設定する。
- ・ 歯科保健指導の目標に沿った歯科衛生計画を立案する。
- ・ 歯科衛生計画に沿った歯科衛生ケア（歯科保健指導・歯科予防処置）を実践する。
- ・ 歯科診療の手順を説明する。
- ・ 歯科診療に必要な器具器材を準備する。
- ・ 医療安全に配慮した歯科衛生士業務を実践する。
- ・ 学校歯科健康診査の意義を説明する。
- ・ 学校歯科健康診査において歯科衛生士業務を実践する。
- ・ 対象者および実習担当者と適切にコミュニケーションをとる。

### 【授業形態】

講義を行ったうえで、その内容に関する実習・グループ学習を行う。臨床実習は医歯学総合病院、臨地実習は新潟市内の高等学校および保健福祉センター実習で行う。

### 【履修上の注意】

- ・ 臨地実習として、保健福祉センター、学校歯科健診、臨床実習として医歯学総合病院歯科衛生士のメンテナンス見学・補助実習を設定しているため、ガイダンス・オリエンテーションに基づき履修すること。
- ・ 対象者のライフステージにおける心身の成長段階、口腔内の特徴、適切な歯科保健指導について事前学習しておくこと。
- ・ 臨床関連実習は2年次の基礎学習と臨床の実践内容を統合するために、提示する学習課題を行ったうえで履修すること。

### 【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/10（金）1-2限	ガイダンス（概要・評価）／保健福祉センター実習概要、対象者把握、臨床・臨地における情報収集、歯科衛生過程（柴田）	テキスト予/保Ⅲ編1章、授業プリントの要点確認
2	5/1（金）1-2限	乳幼児期における発達の特徴（田中） 保健福祉センター実習 対象者把握（柴田）	テキスト予/保Ⅳ編1章②・③、テキスト小児Ⅰ編2章、5-7章、Ⅱ編1章、Ⅲ編1-2章の要点確認
3	5/8（金）1-2限	集団歯科健康診査（葭原） 対象者別の歯科保健指導 義歯装着者、抜歯患者、矯正装置装着者（柴田・小田島）	テキスト予/保Ⅳ編1章⑤、テキスト生態Ⅲ編3章の要点確認／テキスト補綴Ⅲ編3章①-③、テキスト口外Ⅲ編2章⑤、テキスト矯正Ⅲ編3章の要点確認
4	5/15（金）1-2限	保健センター実習 乳幼児の歯科保健指導（柴田・諏訪間）	テキスト予/保Ⅳ編1章②、テキスト小児Ⅰ編2章、5章、6章、7章、Ⅱ編1章、Ⅲ編1章、2章の要点確認
5	5/25（月）1-2限 5/28（火）1-2限	学校歯科健診実習（いずれか1日）（葭原・柴田・小田島）	学校歯科健診 授業プリントの要点確認
6	5/29（金）1-2限	病院実習1班／予防処置実習2・3班 超音波スケーリング、PTC、バキューム操作（小田島・柴田）	テキスト歯周Ⅲ編1章①-③、⑦、授業プリントの要点確認

7	6/5 (金) 1-2限	病院実習2班/予防処置実習3・1班 超音波スケーリング、PTC、パキュウム操作、実技確認 (小田島・諏訪間)	テキスト歯周Ⅲ編1章①-③、⑦、授業プリントの要点確認
8	6/12 (金) 1-2限	行政における歯科衛生士の役割 (平野) 保健福祉センター実習③ (諏訪間)	テキスト生態Ⅲ編1章、2章/テキスト予/保Ⅳ編1章②、テキストBI編2章、5-7章、Ⅱ編1章、Ⅲ編1-2章の要点確認
9	6/19 (金) 1-2限	障害者への歯科保健指導 (近藤) 保健福祉センター実習 ロールプレイ、実習オリエンテーション (近藤・諏訪間)	テキスト予/保Ⅳ編1章⑨、テキストH4章①、②、7章④-⑥の要点確認/1・2・4・8回までの講義、実習内容の復習
10	6/26 (金) 1-2限	う蝕予防処置/シーラント模型実習 (葭原・諏訪間)	テキスト予/保Ⅲ編3章⑤の要点確認
11	7/3 (金) 1-2限	う蝕予防処置/シーラント相互実習 (葭原・諏訪間)	テキスト予/保Ⅲ編3章⑤、授業プリントの要点確認
12	7/10 (金) 1-2限	病院実習3班/予防処置実習1・2班 超音波スケーリング、PTC、パキュウム操作 実技試験 (小田島・諏訪間)	テキスト歯周Ⅲ編1章①-③、⑦、授業プリントの要点確認
13	7/17 (金) 1-2限	後期臨床実習のための実習 (根管治療・レジン充填・Cr合着・義歯調整等の診療補助手順) (小田島・諏訪間・米澤・柴田)	テキスト補綴Ⅱ編2-3章、Ⅲ編1-2章、テキスト保存Ⅱ編1章②、2章①、Ⅲ編2章②、4、7、8章の要点確認
14	9/4 (金) 1-2限	実技試験/筆記試験 (シーラント) (葭原・諏訪間・柴田)	10、11、13回の講義、実習内容の復習、授業プリントの要点確認
15	9/11 (金) 1-2限	キュレットスケーラー・シャープニング (小野澤・諏訪間)	授業プリントの要点確認
16	10/8 (木) 1-2限 11/27 (金) 1-2限 12/10 (木) 1-2限 12/24 (木) 1-2限 1/14 (木) 1-2限 2/5 (金) 1-2限	保健福祉センター実習 (柴田・米澤・諏訪間・小田島) いずれか1回 ※2020/1/17現在未調整	1、2、4、8、9回の講義、実習内容の復習

**【成績評価の方法と基準】**

筆記試験 (40%)、実技試験 (40%)、レポート評価 (20%) により評価する。

**【使用テキスト】**

全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 (7,600円)：予/保
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	小児歯科」医歯薬出版 (3,000円)：小児
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	保健生態学 (第3版)」医歯薬出版 (5,600円)：生態
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」医歯薬出版 (3,000円)：補綴
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」医歯薬出版 (3,400円)：口外
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	歯周病学 (第2版)」医歯薬出版 (3,400円)：歯周
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	歯科診療補助論 (第2版)」医歯薬出版 (6,000円)：補助
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」医歯薬出版 (4,200円)：保存

**【参考文献】**

全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正」医歯薬出版 (3,300円)：矯正
全国歯科衛生士教育協議会	監修「最新歯科衛生士教本	障害者歯科 (第2版)」医歯薬出版 (2,400円)：障歯
公益社団法人日本歯科衛生士会	監修「歯科口腔保健の推進に向けて	ライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック」(3,600円)

科目名：歯科診療補助Ⅱ

担当教員：吉羽 邦彦、小野 和宏、小野 高裕、Stegaroiu Roxana、黒川 孝一、柴田 佐都子、岸本 直隆、西山 秀昌、吉羽 永子、伊藤 加代子、米澤 大輔、諏訪間 加奈、小田島 あゆ子、倉田 行伸、岩瀬 陽子、大墨 竜也、高橋 功次朗、米田 博行、手嶋 謠子（病）、沖津 佳子（病）、本間 しのぶ（病）、高野 綾子（病）、小島 千奈美（病）

開講番号：200DA309

開講学期：通年

水準：14

単位数：4単位

対象学部等：口腔生命福祉学科3年生

【科目概要】

歯科診療における補助および介助の業務内容を理解するために、療法別の診療器材の種類、目的および取り扱い方について解説し、正しくかつ安全に使うあるいは行えるように実技指導する。  
※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

歯科医療現場におけるチーム診療を安全かつ円滑に行うために、療法別の診療補助および診療介助業務に関する知識、技術および態度を習得する。

【学習の到達目標】

- ・療法別の治療の流れが説明できる。
- ・治療器材の名称と使用目的が説明できる。
- ・全身管理と疼痛管理の概要が説明できる。
- ・デンタルエックス線写真の原理と正常・異常画像が説明できる。
- ・ホワイトニング処置ができる。
- ・院内感染対策と滅菌材料の取扱いの基本が説明できる。
- ・病院の物流システムを説明できる。
- ・診療介助ができる。
- ・歯周検査およびPTCの器具を適切かつ安全に操作できる。
- ・歯科用インプラントが説明できる。
- ・義歯用材料の取り扱いができる。
- ・ルーペおよびマイクロスコープの体験をする。
- ・口腔乾燥症、味覚障害患者への対応を説明できる。
- ・咀嚼能力の評価法とその意義を説明できる。

【授業形態】

1 学期教室あるいは示説室でのデモ・講義、実習室での実技を行う。  
2 学期は教室での講義、歯科行動学実習室および臨床技工実習室での「歯科診療補助Ⅰ」および1 学期の履修項目の復習実習を行いながら、4 年生での臨床実習の準備を行う。

【履修上の注意】

・毎回事前配布する「実習の手引き」やハンドアウト等で自主的に予習をして授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/13（月）3-4限	基礎実習：コンポジットレジン修復（充填～研磨）（吉羽永）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p110-114、テキスト②p38-60の要点確認
2	4/20（月）3-4限	保存修復用器材とその使用法（吉羽永）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①110-124、テキスト②p7-12、27-36、105-110の要点確認
3	4/27（月）3-4限	歯内療法用器材とその使用法（吉羽邦）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p125-132、テキスト②p114-171の要点確認
4	5/11（月）3-4限	基礎実習・相互実習：ラバーダム防湿法、歯肉排除法（吉羽邦、柴田）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p99-108の要点確認
5	5/18（月）3-4限	補綴治療用器材とその使用法、リベース材、フィットチェッカー（ステガロユ、米澤）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p138-148、テキスト③p114-133、148-174の要点確認
6	5/25（月）3-4限	基礎実習：暫間被覆冠作製、即時重合レジンの筆積法、仮着（ステガロユ、黒川、諏訪間、柴田）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p145、テキスト③p151-153の要点確認

7	6/1 (月)	3-4 限	口腔外科用器材とその使用法、替刃メス、縫合糸の取り付け (小野和)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト④p218-270の要点確認
8	6/8 (月)	3-4 限	矯正治療用器材とその使用法 (高橋)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト①p173-182の要点確認
9	6/15 (月)	3-4 限	小児歯科用器材とその使用法 (岩瀬、他)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑤p91-109、140-163の要点確認
10	6/22 (月)	3-4 限	注意すべき全身疾患、バイタルサイン・モニター (倉田、他)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト④p174-184、223-232の要点確認
11	6/29 (月)	3-4 限	局所麻酔、精神鎮静法・全身麻酔 (岸本、他)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト④p185-205、223-232の要点確認
12	7/6 (月)	3-4 限	歯科放射線学の基礎と実習 (1) (西山、他)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑨p2-21、30-35、52-89、128-143の要点確認
13	7/13 (月)	3-4 限	歯科放射線学の基礎と実習 (2) (西山、他)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑨p2-11、22-29、90-127、162-178の要点確認
14	7/20 (月)	3-4 限	歯科放射線学の基礎と実習 (3) (西山、他)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑨p52-89、144-161の要点確認
15	8/31 (月)	3-4 限	ホワイトニングの基礎 (講義) (吉羽邦)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト①p121-124、テキスト②p217-221、テキスト⑥p155-156の要点確認
16	9/3 (木)	3-4 限	ホワイトニング実習 (大墨、吉羽邦、小田島)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p121-124、テキスト②p217-221、テキスト⑥p155-156の要点確認
17	9/7 (月)	3-4 限	インプラントの基礎 (講義) (ステガロユ)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト③p104-113の要点確認
18	9/10 (木)	3-4 限	実習 (筆記) 試験 (吉羽邦、他)	第17回までの講義・実習内容の復習
19	10/2 (金)	1-2 限	診療介助実習：歯式の取り方／回転切削用具の種類と用途 (吉羽邦)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p110-124、テキスト②p7-12、27-36、105-110の要点確認
20	10/9 (金)	1-2 限	相互実習：概形印象／口腔内写真撮影 (吉羽邦、ステガロユ、小田島、手嶋)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p92-95、192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
21	10/16 (金)	1-2 限	相互実習：概形印象／口腔内写真撮影 (吉羽邦、ステガロユ、柴田、手嶋)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p92-95、192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
22	10/23 (金)	1-2 限	相互実習：超音波スケーリング (諏訪間、沖津)	実習の手引による実習内容確認、テキスト⑦p161-171の要点確認
23	10/30 (金)	1-2 限	相互実習：臨床実習のための診療補助 (柴田、諏訪間、小田島)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p125-132、テキスト②p114-171の要点確認
24	11/13 (金)	1-2 限	相互実習：寒天アルジネート連合印象／口腔内写真撮影 (吉羽邦、ステガロユ、諏訪間、本間)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p203-204、192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
25	11/20 (金)	1-2 限	相互実習：シリコン連合印象、咬合採得／口腔内写真撮影 (吉羽邦、ステガロユ、米澤、高野)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p204-208、192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
26	11/27 (金)	1-2 限	石膏練和、セメント練和 (吉羽邦、柴田、諏訪間、小田島、高野)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p214-221、222-235、240-244、テキスト⑥p72-89の要点確認
27	12/4 (金)	1-2 限	特論発表会聴講 (黒川)	事前に配布した口腔保健福祉特論発表集を基に学習
28	12/11 (金)	1-2 限	相互実習：超音波スケーリング／実技確認 (諏訪間、柴田)	実習の手引による実習内容確認、テキスト⑦p161-171の要点確認
29	12/18 (金)	1-2 限	相互実習：歯周ポケット測定、ハンドスケーリング (諏訪間、米澤)	実習の手引による実習内容確認、テキスト⑦p131-161、テキスト⑧p138-145の要点確認
30	12/25 (金)	1-2 限	診療介助実習：歯内治療 (吉羽邦)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p125-132、テキスト②p114-171の要点確認
31	1/8 (金)	1-2 限	ティッシュコンディショナー、リベース材の扱い方 (黒川)	実習の手引による実習内容確認、テキスト③p141-142、テキスト⑥p167-168の要点確認
32	1/15 (金)	1-2 限	相互実習：口腔乾燥症、味覚障害患者への対応 (伊藤、米澤)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p86-89の要点確認
33	1/22 (金)	1-2 限	咀嚼能力評価法 (小野高、米田)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認

34	1/29 (金)	1-2 限	相互実習：ルーペを用いた歯周ポケット測定、マイクロスコープ体験、セメント練和等（吉羽邦、諏訪間、小田島、小島）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認
35	2/5 (金)	1-2 限	実習調整日	第19～34回までの講義・実習内容の復習

### 【成績評価の方法と基準】

1 学期の評価（50%）、2 学期の評価（50%）で評価する。それぞれの評価方法と基準は次のとおりである。

1 学期：筆記試験（80%）および実習態度（20%）で評価する。

2 学期：観察記録により履修項目の達成度（70%）および実習態度（30%）により評価する。

### 【使用テキスト】

- ①全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論（第2版）」医歯薬出版（6,000円・税別）
- ②全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」医歯薬出版（4,200円・税別）
- ③全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」医歯薬出版（3,000円・税別）
- ④全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」医歯薬出版（3,400円・税別）
- ⑤全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 小児歯科」医歯薬出版（3,000円・税別）
- ⑥全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科材料」医歯薬出版（3,500円・税別）
- ⑦全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版（7,600円・税別）
- ⑧全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯周病学（第2版）」医歯薬出版（3,500円・税別）
- ⑨有地榮一郎 他 監修「歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学（第3版）」学建書院（2,600円・税別）

### 【参考文献】

- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科機器」医歯薬出版（3,500円・税別）
- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正」医歯薬出版（3,000円・税別）
- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科（第2版）」医歯薬出版（2,600円・税別）
- 金子潤 他 編著「歯科衛生士ベーシックスタンダード ホワイトニング」医歯薬出版（3,200円・税別）

**科目名：**臨床歯科学Ⅱ  
**担当教員：**山崎 和久、小野 和宏、Stegaroiu Roxana、小松 康高、高橋 直紀  
**開講番号：**200DA310                      **開講学期：**第1学期                      **水準：**14  
**単位数：**1単位                              **対象学部等：**口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**  
 歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科の疾患に対する原因・診断・治療法について小グループにより学習・調査し、その結果を発表して討論し、理解を深める。  
 ※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

**【科目のねらい】**  
 実際の臨床の現場で対応できる知識を身につけるため、様々な疾患や病状を持った具体的なケースを題材としてグループで議論しながら、自ら考え、調査し、議論してグループメンバーと協力して与えられた課題を解決することを体験する。このような経験を通じて口腔領域の疾患の病態、全身と口腔疾患との関連、治療法を理解する。

**【学習の到達目標】**

- ・歯周病学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・歯科補綴学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・口腔外科学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。

**【学習方法・学習上の注意】**  
 PBL形式のグループ学習を主体とする。また、各臨床歯学領域の講義を併せて行う。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容 (担当)	準備学習 (予習範囲)
1	4/13 (月) 1限 2限	シナリオ1の提示と学習課題の設定 (FC) グループ学習	シナリオ1の内容予習
2	5/11 (月) 1限 2限	歯科補綴学講義 (ロクサーナ) グループ学習	テキストの補綴物作成手順の要点確認
3	5/18 (月) 1-2限	グループ討議・シナリオ2提示と学習課題の設定 (FC)	シナリオ2の内容予習
4	6/8 (月) 1-2限	グループ学習	シナリオ2の学習課題確認
5	6/22 (月) 1-2限	グループ討議・シナリオ3提示と学習課題の設定 (FC)	シナリオ2発表準備 シナリオ3の内容予習
6	7/6 (月) 1限 2限	グループ学習 歯周病学講義 (根分岐部病変) (高橋)	シナリオ3の学習課題確認 テキストの根分岐部病変の要点確認
7	7/20 (月) 1-2限	グループ討議・シナリオ4提示と学習課題の設定 (FC)	シナリオ3発表準備 シナリオ4の内容予習
8	8/31 (月) 1限 2限	グループ学習 歯周病学講義 (歯周組織再生療法) (小松)	シナリオ4の学習課題確認 テキストの歯周組織再生療法の要点確認
9	9/7 (月) 1限 2限	PBL前半グループ討議 学生からの質問に答えるセミナー (山崎・小野)	シナリオ4発表準備
10	9/7 (月) 5限	学生からの質問に答えるセミナー (ロクサーナ)	

**【成績評価の方法と基準】**  
 多肢選択形式および記述式の筆記試験 (100%) により評価する。  
 形成的評価によりフィードバックを行う (学生評価・教員評価・シナリオ評価)。  
 なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

**【使用テキスト】**  
 全国歯科衛生士教育協議会監修  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 (第2版) 医歯薬出版株式会社 3,500円  
 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 医歯薬出版株式会社 3,000円  
 その他教科書、文献、図書館、インターネットなどあらゆる教育資源を使って自主学習する。

**【参考文献】**  
 必要に応じて授業中に紹介する。

科目名：臨床歯科学Ⅲ

担当教員：山崎 和久、小野 和宏、齊藤 一誠

開講番号：200DA311

開講学期：第2学期

水準：14

単位数：1単位

対象学部等：口腔生命福祉学科3年生

### 【科目概要】

口腔外科、歯科矯正、小児歯科領域の疾患に対する原因・診断・治療法について小グループにより学習・調査し、その結果を発表して討論し、理解を深める。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

### 【科目のねらい】

実際の臨床の現場で対応できる知識を身につけるため、様々な疾患や病状を持った具体的なケースを題材としてグループで議論しながら、自ら考え、調査し、議論してグループメンバーと協力して与えられた課題を解決することを体験する。このような経験を通じて口腔領域の疾患の病態、全身と口腔疾患との関連、治療法を理解する。

### 【学習の到達目標】

- ・小児歯科学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・口腔外科学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・歯科矯正学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。

### 【学習方法・学習上の注意】

グループ学習（PBL）

具体的な症例が課題として学生に提示され、学生同士でグループ討論を行い、問題点を整理する。次に図書館やWeb上の資料を使って自主学習し、指導教員を交えて各自学習したことをもとにグループ討論を行い、そこで浮上した問題点・疑問点についてさらに自主学習する。

学習者が自ら問題点を発見し、その解決方法を見いだす能力を養う。

各回の準備学習の具体的内容については、初回授業時に指示する。

### 【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/5（月）3限 4限	シナリオ5提示と学習課題の設定（FC） グループ学習	シナリオ5内容予習
2	10/26（月）3-4限	グループ学習	シナリオ5学習課題確認
3	11/16（月）3-4限	グループ討議・シナリオ6提示と学習課題の設定（FC）	シナリオ5発表準備 シナリオ6内容予習
4	11/30（月）3-4限	グループ学習	シナリオ6学習課題確認
5	12/7（月）3-4限	グループ討議・シナリオ7提示と学習課題の設定（FC）	シナリオ6発表準備 シナリオ7内容予習
6	12/21（月）3-4限	グループ学習	シナリオ7学習課題確認
7	1/25（月）3-4限	グループ討議・シナリオ8提示と学習課題の設定（FC）	シナリオ7発表準備 シナリオ8内容予習
8	2/8（月）3限 4限	最終グループ討議 学生からの質問に答えるセミナー	シナリオ8発表準備

### 【成績評価の方法と基準】

多肢選択形式および記述式の筆記試験（100％）により評価する。

形成的評価によりフィードバックを行う（学生評価・教員評価・シナリオ評価）。なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

### 【使用テキスト】

全国歯科衛生士教育協議会監修

最新歯科衛生士教本 小児歯科 医歯薬出版株式会社 3,000円

その他教科書、文献、図書館、インターネットなどあらゆる教育資源を使って自主学習する。

### 【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

**科 目 名：**障害者福祉総論（障害者福祉論Ⅰ／社会福祉援助技術論Ⅱ）

**担 当 教 員：**黒川 孝一、高橋 英樹、中村 健、島田 久幸（非）、武石 敏秀（非）、中村 章一（非）、熊倉 克己（非）、丸田 徹（非）

**開 講 番 号：**200DA312／200DA313      **開 講 学 期：**第2学期      **水 準：**14

**単 位 数：**2単位／2単位      **対 象 学 部 等：**口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**  
 [障害者福祉論Ⅰ]  
 社会福祉士として必要な障害者福祉についての理念や基本的考え方などの専門的知識術を習得するために、講義やスモールグループに別れてシナリオに基づき総合的に学習する。  
 [社会福祉援助技術論Ⅱ]  
 主に障害者を対象とした社会福祉援助技術を習得するために、講義やスモールグループに別れてシナリオに基づき総合的に学習する。

**【科目のねらい】**  
 [障害者福祉論Ⅰ]  
 現代社会における障害の概念、障害者の実態及び障害者福祉の社会的背景について理解する。また、障害者福祉の理念と意義を踏まえ、障害者福祉の需要の把握方法、関連法とサービスの体系、民間活動および民間サービスの意味とその現状について理解する。さらに障害者福祉における専門職と関連分野の連携のあり方について考える。  
 [社会福祉援助技術論Ⅱ]  
 障害者に対する相談援助活動について、障害者福祉に関連する他職種との連携も踏まえながら理解する。

**【学習の到達目標】**  
 [障害者福祉論Ⅰ]  
 ・ 障害の種類と国際分類について説明できる。  
 ・ ADL・IADLとQOL（生活の質）について説明できる。  
 ・ 疾病と障害の概要について説明できる。  
 ・ 障害者の法的定義、自立について説明できる。  
 ・ 障害児・者関係実態調査について説明できる。  
 ・ 障害者基本法の概要について説明できる。  
 ・ 障害者総合支援法の概要について説明できる。  
 ・ 障害児・身体障害者・知的障害者・精神障害者の福祉について説明できる。  
 ・ 身体障害者・知的障害者の相談支援事業について説明できる。  
 ・ 障害者の保健・医療、教育、雇用・就労、年金・手当及び経済的負担の軽減、住宅・生活環境についての関連法による施策について説明できる。  
 ・ 発達障害者支援法について説明できる。  
 [社会福祉援助技術論Ⅱ]  
 ・ 障害者（当事者）活動、セルフヘルプグループについて説明できる。  
 ・ 障害者福祉および関連分野の組織・専門職（障害者更生相談所、精神保健福祉センター、身体障害者福祉司・知的障害者福祉司、身体障害者相談員・知的障害者相談員）とその連携のあり方について説明できる。  
 ・ 社会福祉援助活動の原則（人権尊重、権利擁護、自己決定、アドボケイトなど）を説明できる。  
 ・ 保健・医療・福祉等の多職種による連携について説明できる。  
 ・ エンパワメントアプローチについて説明できる。

**【授業形態】**  
 講義と4つのシナリオを用いたPBL形式で行い、各シナリオ終了後、必要に応じて補足セミナーを行う。

**【履修上の注意】**  
 ・ 制度改正が煩雑に行われる領域でもあるので、公的機関のホームページ等を活用し、最新の情報源から学習するように心がけること。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/1（木）	3限 講義：現代社会と障害および障害者法体系（黒川）	現代社会と障害および障害者法体系および障害者の就労支援の要点の確認
		4限 講義：障害者の就労支援について（黒川）	
2	10/2（金）	3限 講義：障害児・者の福祉の概要について（高橋）	障害児・者の福祉および精神障害者福祉の要点の確認
		4限 講義：精神障害者福祉の概要について（高橋）	
3	10/6（火）	3限 講義：障害者総合支援法の概要について（中村）	障害者総合支援法および障害福祉サービスの体系の要点の確認
		4限 講義：障害福祉サービスの体系（中村）	



4	10/8 (木)	3限 4限	シナリオ1提示 (FC3名) シナリオ1グループ学習	PBLの進め方の復習
5	10/9 (金)	3-4限	シナリオ1グループ学習	シナリオ1の学習課題の整理2
6	10/13 (火)	3-4限	シナリオ1グループ討議・シナリオ2提示 (FC3名)	シナリオ1の学習成果発表の準備
7	10/15 (木)	3-4限	シナリオ2グループ学習	シナリオ2の学習課題の整理
8	10/16 (金)	3限 4限	シナリオ2グループ討議 (FC3名) シナリオ1/2 パワーポイントまとめ	シナリオ2の学習成果発表の準備
9	10/20 (火)	3限 4限	シナリオ1/2発表 (黒川、熊倉) セミナー (黒川、熊倉)	シナリオ1・2の追加学習・学習成果の要点確認
10	10/21 (水)	3限 4限	講義：障害者ケアマネジメントについて (島田) 講義：障害者ケアマネジメントについて (島田)	障害者ケアマネジメントの要点の確認
11	10/23 (金)	3限 4限	シナリオ3提示 (FC3名) シナリオ3グループ学習	シナリオ中の障害者ケアマネジメントの復習 シナリオ3の学習課題の整理
12	10/27 (火)	3-4限	シナリオ3グループ討議・シナリオ4提示 (FC3名)	シナリオ3の学習成果発表の準備
13	10/29 (木)	3限	シナリオ4グループ学習	シナリオ4の学習課題の整理
14	10/30 (金)	3限 4限	シナリオ4グループ討議 (FC3名) シナリオ3/4 パワーポイントまとめ	シナリオ4の学習成果発表の準備
15	11/5 (木)	3限 4限	シナリオ3/4発表 (黒川、中村) セミナー (黒川、中村)	シナリオ3・4の追加学習・学習成果の要点確認
16	11/6 (金)	3限 4限	演習：(事例検討 課題設定) (中村) 演習：(事例検討 課題検討) (中村)	障害者に対する福祉援助技術の要点の確認
17	11/10 (火)	3限 4限	講義：(障害者スポーツの展開について) (丸田、黒川) 講義：(障害者スポーツの展開について) (丸田、黒川)	障害者スポーツの要点の確認
18	11/12 (木)	3限 4限	講義：(精神障害者施策の展開) (武石、黒川) 講義：(精神障害者施策の展開) (武石、黒川)	精神障害者施策の要点の確認
19	11/13 (金)	3限 4限	演習：(事例検討 課題発表) (中村) 演習：(事例検討 課題発表) (中村)	障害者に対する福祉援助技術の事例学習成果発表の準備

#### 【成績評価の方法と基準】

[障害者福祉論Ⅰ]

筆記試験 (選択式および記述式) (100%) により評価する。

[社会福祉援助技術論Ⅱ]

筆記試験 (選択式および記述式) (100%) により評価する。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

#### 【使用テキスト】

指定しない。

科 目 名：高齢者福祉総論（高齢者福祉論Ⅰ／社会福祉援助技術演習Ⅰ）

担 当 教 員：高橋 英樹、中村 健、真部 和彦（非）、林 正海（非）

開 講 番 号：200DA314／200DA315 開 講 学 期：第2学期 水 準：14

単 位 数：4単位／4単位 対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**

[高齢者福祉論Ⅰ]

高齢者の生活構造、生活実態とこれを取り巻く社会情勢、介護保険制度および高齢者福祉関連制度、介護の概念や技法について理解する。

[社会福祉援助技術演習Ⅰ]

ソーシャルワークの実践に求められる相談援助に関する知識および技術について、実践を想定した学習法により習得する。

**【科目のねらい】**

[高齢者福祉論Ⅰ]

高齢者の生活の現実とその構造を把握し、介護の概念、対象、理念および介護サービスの需要について理解する。加えて、高齢者福祉分野におけるソーシャルワークに不可欠な介護保険制度および高齢者福祉関連制度を体系的に学修する。

[社会福祉援助技術演習Ⅰ]

自己覚知を習得し、コミュニケーションおよび面接技術の基本を習得する。また相談援助における各過程の意味、ネットワークングおよび社会資源の活用・調整・開発の意味と期待される効果を理解し、基本的な活用方法を習得する。

**【学習の到達目標】**

[高齢者福祉論Ⅰ]

- ・ 少子高齢社会の到来および将来予測について、具体的なデータの分析を踏まえて説明する。
- ・ 高齢者の生活構造・実態を踏まえ、高齢者の福祉・介護サービスに対する一般的なニーズの要点を説明する。
- ・ 高齢者の加齢に伴う身体および精神の変化や加齢に伴う疾病について例示的に説明する。
- ・ 介護の概念、対象およびその理念について、要点を説明する。
- ・ 介護過程における介護技法の基本を列挙する。
- ・ 介護予防の基本的な考え方を例示的に説明する。
- ・ 介護保険制度およびその他の高齢者福祉関連制度の要点を説明する。
- ・ 介護保険制度における介護サービスを列挙し、その具体的な内容と対象を例示的に説明する。
- ・ 高齢者の身体および精神の加齢変化や特徴的な疾病の要点を説明する。

[社会福祉援助技術演習Ⅰ]

- ・ 演習を通して理解した自らのストレングスや対人援助の場面で留意すべき思考、認識、行動の傾向を説明する。
- ・ 模擬的な演習場面において、コミュニケーションおよび面接の技術を意図的に利用する。
- ・ 相談援助過程におけるインテイク・アセスメント・プランニング・インターベンション・モニタリングについて、具体的な演習事例に即して説明する。
- ・ ネットワークングおよび社会資源の活用・調整・開発に関する技術について、具体的な演習事例に即して説明する。

**【授業形態】**

講義、小グループによるPBL学習、演習を組み合わせ学習する。

**【履修上の注意】**

- ・ 内閣府「高齢社会白書」に目を通しておくことが望ましい。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	11/17（火）3-4限	現代社会と高齢者福祉1（高橋）	社会福祉原論の講義内容全般の復習。
2	11/19（木）3-4限	現代社会と高齢者福祉2（高橋）	前回講義内容の復習。
3	11/20（金）3-4限	障害者・高齢者虐待（中村）	社会福祉現場実習指導Ⅰ（ソーシャルワーク論）の講義内容全般の復習
4	11/24（火）3限 4限	PBL：シナリオ1提示（FC） PBL：シナリオ1グループ学習	社会福祉原論のうち、「人口変動」に関する講義内容の復習。
5	11/26（木）3限 4限	PBL：シナリオ1グループ討議（FC） PBL：シナリオ1まとめ	グループ学習内容の整理。
6	11/27（金）3限 4限	PBL：シナリオ1発表（高橋） 高齢者福祉の発展過程1（高橋）	発表準備。
7	12/1（火）3限 4限	PBL：シナリオ2提示（FC） PBL：シナリオ2グループ学習	社会福祉原論のうち、「貧困問題」に関する講義内容の復習。
8	12/3（木）3限 4限	PBL：シナリオ2グループ討議（FC） PBL：シナリオ2まとめ	グループ学習内容の整理。

9	12/5 (金)	3限 4限	PBL: シナリオ 2 発表 (高橋) 高齢者福祉の発展過程 2 (高橋)	発表準備。
10	12/8 (火)	3限 4限	PBL: シナリオ 3 提示 (FC) PBL: シナリオ 3 グループ学習	社会福祉現場実習指導 I (ソーシャルワーク論) のうち、「自己理解」に関する講義内容の復習。
11	12/10 (木)	3限 4限	PBL: シナリオ 3 グループ討議 (FC) PBL: シナリオ 3 まとめ	グループ学習内容の整理。
12	12/11 (金)	3限 4限	PBL: シナリオ 3 発表 (高橋) 介護保険制度 1 (高橋)	発表準備。
13	12/15 (火)	3限 4限	PBL: シナリオ 4 提示 (FC) PBL: シナリオ 4 グループ学習	第12回の介護保険制度に関する講義内容の復習。
14	12/17 (木)	3限 4限	PBL: シナリオ 4 グループ討議 (FC) PBL: シナリオ 4 まとめ	グループ学習内容の整理。
15	12/18 (金)	3限 4限	PBL: シナリオ 4 発表 (高橋) 介護保険制度 2 (高橋)	発表準備。
16	12/22 (火)	3限 4限	PBL: シナリオ 5 提示 (FC) PBL: シナリオ 5 グループ学習	「障害者・高齢者虐待」の演習で学習した内容を復習。
17	12/24 (木)	3限 4限	PBL: シナリオ 5 グループ討議 (FC) PBL: シナリオ 5 まとめ	グループ学習内容の整理。
18	12/25 (金)	3限 4限	PBL: シナリオ 5 発表 (高橋) 介護保険制度 3 (高橋)	発表準備。
19	1/7 (木)	3-4限	認知症 (中村)	前回までのPBL学習の内容を復習。
20	1/8 (金)	3-4限	ホームレス・社会的排除 (中村)	社会福祉原論のうち、「社会的包摂」に関する講義内容の復習。
21	1/12 (火)	3-4限	介護の概念や対象 (真部)	シナリオ 1-5 で学習した内容を復習。
22	1/15 (金)	3-4限	独立型社会福祉士 (林)	社会福祉現場実習指導 I で実施した見学実習で学習した内容を整理。
23	1/19 (火)	3-4限	介護サービスの実際 1 (真部)	シナリオ 1-5 で学習した内容を復習。
24	1/21 (木)	3-4限	ソーシャルワークの新領域 (林)	第22回「独立型社会福祉士」で学習した内容を復習。
25	1/22 (金)	3-4限	相談援助実習ガイダンス (高橋)	社会福祉現場実習指導 I で実施した見学実習で学習した内容を整理。
26	1/26 (火)	3限 4限	PBL: シナリオ 6 提示 (FC) PBL: シナリオ 6 グループ学習	第1回・第2回の「現代社会と高齢者福祉」に関する講義内容の復習。
27	1/28 (木)	3限 4限	PBL: シナリオ 6 グループ討議 (FC) PBL: シナリオ 6 まとめ	グループ学習内容の整理。
28	1/29 (金)	3限 4限	PBL: シナリオ 6 発表 (高橋) 介護保険制度 4 (高橋)	発表準備。
29	2/2 (火)	3-4限	介護サービスの実際 2 (真部)	シナリオ 1-5 で学習した内容を復習。
30	2/4 (金)	3限 4限	まとめと振り返り (高橋) 筆記試験	これまでの授業内容を振り返り、自己認識に変化のあった部分を口頭で説明できるよう準備する。

### 【成績評価の方法と基準】

〔高齢者福祉論 I〕

筆記試験 (50%)、レポート (50%) で評価する。

〔社会福祉援助技術演習 I〕

筆記試験 (50%)、レポート (50%) で評価する。

PBLについては、形成的評価によりユニットコーディネーターおよびファシリテーターが随時フィードバックを行う。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

### 【使用テキスト】

指定しない。

### 【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

### 【参考Webサイト】

内閣府「高齢社会白書」 <https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>

科 目 名：高齢者・障害者歯科学

担 当 教 員：米澤 大輔、井上 誠、辻村 恭憲、真柄 仁、伊藤 加代子、大島 邦子

開 講 番 号：200DA316

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**

全身ならびに顎口腔系の加齢に伴う形態学的・機能的変化ならびに高齢者に特有の疾患に伴うこれらの変化を理解し、超高齢社会における高齢者を取り巻く歯科口腔保健に関わる社会環境やその問題点を集学的に学修する。  
※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

**【科目のねらい】**

超高齢社会における歯科衛生士の役割をはたすため、老年患者のもつ生物学的特徴を正しくとらえて、これを理解する。超高齢社会における歯科医療体制やその問題点およびその解決に向けた基礎的な知識を修得する。

**【学習の到達目標】**

- ・生物学加齢変化と病的加齢変化について説明する。
- ・各器官、各組織の老化ならびに機能の加齢変化について説明する。
- ・顎口腔領域の加齢変化について説明する。
- ・高齢者を取り巻く社会的環境について説明する。
- ・高齢者の精神・心理的背景について説明する。
- ・高齢者にみられる全身疾患および全身状態を説明する。
- ・高齢者の栄養と口腔保健について説明する。

**【授業形態】**

講義ならびに課題に対するグループ単位での発表を行う。  
講義では前回の内容について小テストにてその復習を行う。

**【履修上の注意】**

- ・口腔機能に関する生理学の知識があることが望ましい。
- ・高齢者の社会福祉に興味をもって臨むことが望ましい。
- ・講義資料は分野HPに掲載するため、各自でダウンロードし一読してから授業に臨むこと。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容 (担当)	準備学習 (予習範囲)
1	10/6 (火) 2限	総論 (井上)	事前に配布された講義プリントを前もって十分に読んでおくこと。
2	10/7 (水) 1限	摂食嚥下障害総論 (井上)	〃
3	10/7 (水) 2限	摂食嚥下機能の評価と診断 (井上)	〃
4	10/13 (火) 2限	高齢者の特性 (井上)	〃
5	10/14 (水) 1限	摂食嚥下リハビリテーション (井上)	〃
6	10/14 (水) 2限	要介護高齢者の口腔ケア (伊藤)	〃
7	10/20 (火) 2限	高次機能の加齢変化 (井上)	〃
8	10/21 (水) 1限	摂食嚥下障害への臨床的アプローチ1 (井上)	〃
9	10/21 (水) 2限	摂食嚥下障害への臨床的アプローチ2 (井上)	〃
10	10/27 (火) 2限	顎口腔系の加齢変化 (味覚と唾液) (伊藤)	〃
11	10/28 (水) 1限	障害児・者の歯科治療1 (大島)	〃
12	10/28 (水) 2限	障害児・者の歯科治療2 (大島)	〃
13	11/4 (水) 1-2限	自習	〃
14	11/6 (金) 2限	周辺機能の加齢変化 (咳嗽・呼吸) (辻村)	〃
15	11/10 (火) 2限	超高齢社会における地域歯科医療 (渡部)	〃
16	11/11 (水) 1-2限	自習	〃
17	11/17 (火) 2限	オーラルフレイル (井上)	〃
18	11/18 (水) 1-2限	課題発表 (井上)	〃
19	11/24 (火) 2限	超高齢社会における歯科医療のあり方 (大内)	〃
20	12/1 (火) 2限	顎口腔系の加齢変化 (摂食機能) (井上)	〃
21	12/15 (火) 2限	高齢者の身体機能 (木村)	〃
22	12/22 (火) 2限	高齢者の栄養 (小山)	〃

**【成績評価の方法と基準】**

筆記試験（90％）ならびに態度および課題の発表内容（10％）により評価する。

**【使用テキスト】**

指定しない。講義資料をHPに掲載する。

**【参考文献】**

大内 尉義・他編「新老年学（第3版）」東京大学出版社（40,000円）

日本老年医学会 編「老年医学テキスト（改訂第3版）」メジカルビュー社（7,000円）

佐藤 裕二・他編「よくわかる高齢者歯科」永末書店（8,500円）

森戸 光彦・他編「老年歯科医学」医歯薬出版（10,000円）

**【参考Webサイト】**

<http://www5.dent.niigata-u.ac.jp/~dysphagia/education/dentistry/index.html>

**科 目 名：**歯科衛生学実習Ⅲ

**担 当 教 員：**小田島 あゆ子、柴田 佐都子、諏訪間 加奈、米澤 大輔、真柄 仁、倉田 行伸、薄波 清美（非）、北垣 志麻（非）、有友 たかね（非）、上路 拓美（病）、中井 恵美（病）、田中 恵子（病）、内山 正子（病）、五十嵐 竜太（病）

**開 講 番 号：**200DA317                      **開 講 学 期：**第2学期                      **水 準：**14

**単 位 数：**2単位                              **対 象 学 部 等：**口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**  
要介護者、障害者、摂食嚥下機能低下者、有病者などに適切な歯科衛生介入を行うために必要な、専門的な知識、技術および態度について、講義や演習を通して総合的に学習する。  
※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

**【科目のねらい】**  
有病者、要介護者、障害者、嚥下機能低下者等を対象として、病院、施設、在宅等の環境に配慮し、歯科衛生過程の展開を通して適切な歯科保健指導、歯科予防処置を実施するために必要な知識、技術態度を身に付ける。

**【学習の到達目標】**

- ・ 有病者、要介護者、障害者、嚥下機能低下者等を対象として、歯科保健指導および歯科予防処置を実施するために必要な情報の収集・処理、問題点を抽出することができる。
- ・ 抽出した問題点から、その原因を判断することができる。
- ・ 判断した問題点の原因に対して歯科保健指導および歯科予防処置を実施するために、介入計画を立案し、実践することができる。
- ・ 対象者に実践した介入の評価および各ステップの評価ができる。
- ・ 有病者、要介護者、障害者、嚥下機能低下者等の対象者およびその家族の内面を理解することができる。

**【授業形態】**  
講義および実習を行う。講義は実際に障害者、要介護者、有病者の歯科保健指導を行っている歯科衛生士などを招いて行うこともある。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容(担当)	準備学習(予習範囲)
1	10/7(水) 3-4限	ガイダンス(小田島)	詳細は授業で指示する
2	10/14(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(障害者) 1 介護者からみた医療・福祉(北垣・小田島)	テキスト1-IV編1章⑨障害者の要点確認
3	10/19(月) 3-4限	対象者別歯科保健指導(障害者) 2 障害者別対応(有友・小田島)	テキスト1-IV編1章⑨障害者の要点確認
4	10/22(木) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者) 1 要介護者の移乗・移送/有病者へのコミュニケーション(小田島)	テキスト1-IV編1章⑦老年期および⑧要介護高齢者の要点確認
5	10/28(水) 3-4限	対象者別保健指導(要介護者) 1 摂食嚥下機能低下者への対応・機能評価(真柄・小田島)	テキスト1-IV編1章⑦老年期および⑧要介護高齢者の要点確認
6	11/4(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者) 2 口腔ケア・義歯装着患者(小田島・諏訪間)	テキスト1-IV編1章⑦老年期および⑧要介護高齢者の要点確認
7	11/9(月) 3-4限	対象者別保健指導(要介護者) 2 食事介助時のポイント(小田島・柴田)	テキスト1-IV編1章⑦老年期および⑧要介護高齢者の要点確認
8	11/11(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者) 3 摂食嚥下機能低下者への対応・経鼻吸引(真柄・小田島・米澤・諏訪間)	テキスト1-IV編1章⑦老年期および⑧要介護高齢者の要点確認
9	11/18(水) 3-4限	対象者別保健指導(要介護者) 3 要介護者における口腔機能維持管理(薄波・小田島)	テキスト1-IV編1章⑦老年期および⑧要介護高齢者の要点確認
10	11/25(水) 1-2限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際1(小田島・柴田)	第2-9回までの復習及び介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認
11	11/25(水) 3-4限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際2(小田島・柴田)	第2-9回までの復習及び介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認
12	12/2(水) 1-2限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際3(諏訪間・米澤)	第2-11回までの復習及び介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認

13	12/2 (水)	3-4 限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際 4 (諏訪間・米澤)	第2-11回までの復習及び介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認
14	12/9 (水)	3-4 限	対象者別保健指導 (有病者) 1 周術期口腔機能管理 1 (概要) (小田島)	テキスト2-Ⅲ編1章③リスクファクターなどに対する指導、テキスト3-5章薬物療法・11章メンテナンス治療の要点確認
15	12/16 (水)	3-4 限	対象者別歯科保健指導 (有病者) 歯科診療に必要な基本的な感染対策の知識/集中ケア領域の患者の特殊性と口腔ケア (内山・五十嵐・小田島)	授業プリントの要点確認
16	12/23 (水)	3-4 限	対象者別保健指導 (有病者) 2 周術期口腔機能管理 2 (緩和ケア) (山崎・小田島)	授業プリントの要点確認
17	1/13 (水)	3-4 限	対象者別保健指導 (有病者) 3 周術期口腔機能管理 3 (がん患者の口腔ケア) (勝良・小田島)	授業プリントの要点確認
18	1/14 (木)	3-4 限	対象者別保健指導 (有病者) 4 周術期口腔機能管理 4 (田中・小田島)	授業プリントの要点確認
19	1/20 (水)	3-4 限	医療安全管理 1 (柴田)	テキスト4-I編2章医療安全と感染管理の要点確認
20	1/27 (水)	3-4 限	医療安全管理 2 (柴田)	テキスト4-I編2章医療安全と感染管理の要点確認
21	2/3 (水)	3-4 限	試験 (実技・筆記) (小田島・柴田・諏訪間・米澤)	第20回までの講義内容の復習

#### 【成績評価の方法と基準】

課題レポート (30%)、実技試験 (30%) および筆記試験 (40%) より評価する。

#### 【使用テキスト】

1. 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 (7,600円)
2. 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版」医歯薬出版 (3,500円)
3. 新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断再建学分野「歯周病学実習のストラテジー」オリジナルテキスト (4,100円)
4. 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版」医歯薬出版 (6,000円)

#### 【参考文献】

- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 口腔保健管理」医歯薬出版 (3,200円)
- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 障害者歯科 (第2版)」医歯薬出版 (2,400円)
- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 (第2版)」医歯薬出版 (2,600円)
- 歯科衛生士のための 歯科医療安全管理 医歯薬出版 (3,400円)

**科 目 名：**地域福祉論

**担 当 教 員：**中村 健、大内 章嗣、高橋 英樹、稲田 泰紀（非）

**開 講 番 号：**200DA318                      **開 講 学 期：**第1学期                      **水 準：**14

**単 位 数：**2単位                      **対 象 学 部 等：**口腔生命福祉学科3年生

**【科目概要】**  
 地域福祉の基本的考え方、地域福祉に係る組織、団体及び専門職や住民、地域福祉の推進方法について、講義及び演習（事例検討）により学習する。

**【科目のねらい】**  
 地域福祉の全体像と基本となる考え方を理解した上で、地域福祉の実際について学ぶことで、地域福祉を推進するための理論と方法を理解する。

- 【学習の到達目標】**
- ・ 地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等）について概説できる。
  - ・ 地域福祉の主体と対象について概説できる。
  - ・ 地域福祉に関わる組織、団体について説明できる。
  - ・ 地域福祉に関わる専門職の役割と実際について説明できる。
  - ・ 地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む）の意義と方法及びその実際について概説できる。
  - ・ 地域福祉の推進方法（社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域包括ケアシステムの構築方法、サービスの評価方法等）について概説できる。

**【授業形態】**  
 講義と演習（事例検討）を組み合わせることで、知識を習得すると共に、事例に対する自己の考えを構築、説明する力を涵養する。

- 【履修上の注意】**
- ・ 講義については、あらかじめ講義内容に関連した参考書等を調べ、基本的知識を整理したうえで講義に臨むこと。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/29（水）3-4限	地域福祉の全体像（中村）	地域福祉の概念を調べる
2	5/13（水）1限	行政組織と民間組織の役割と実際（中村）	行政組織と民間組織の役割について要点整理
3	5/13（水）2限	地域包括ケアシステムの構築と実際（中村）	地域包括ケアシステムの構築について要点整理
4	5/20（水）1-2限	地域福祉の基本的な考え方（高橋）	地域福祉の基本的な考え方について要点整理
5	5/27（水）1限	地域における福祉サービスの評価方法と実際（中村）	地域における福祉サービスの評価方法について要点整理
6	5/27（水）2限	専門職や地域住民の役割と実際1（稲田）	専門職や地域住民の役割について要点整理
7	6/3（水）1限	地域における社会資源の活用・調整・開発（大内）	地域における社会資源の活用・調整・開発について要点整理
8	6/3（水）2限	専門職や地域住民の役割と実際2（稲田）	第4回2限の講義の復習
9	7/22（水）1限	地域における福祉ニーズの把握方法と実際（大内）	地域における福祉ニーズの把握方法について要点整理
10	7/22（水）2限	ネットワーク（稲田）	ネットワークについて要点整理
11	9/2（水）1-2限	演習（事例検討）（中村）	第6回までの講義内容の復習
12	9/9（水）2限	まとめ、筆記試験（中村）	発表準備

**【成績評価の方法と基準】**  
 筆記試験（70%）および演習発表への参加度（30%）により評価する。

**【使用テキスト】**  
 特に指定しない。

**【参考文献】**  
 社会福祉士養成講座編集委員会 編「新社会福祉士養成講座第9巻 地域福祉の理論と方法」中央法規出版（2,600円）

**【参考Webサイト】**  
<https://www.mhlw.go.jp/index.html> 厚生労働省HP



科 目 名：権利擁護と成年後見

担 当 教 員：大内 章嗣、高橋 英樹、中村 健、池田 あさみ（非）

開 講 番 号：200DA319

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：1単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科3年生

#### 【科目概要】

成年後見制度を始めとした権利擁護活動の概要と実際について、実務担当者による事例報告も交えながら学習する。  
※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

#### 【科目のねらい】

権利擁護の概念・内容について、その背景となる法や関連サービスとの関わりを含めて理解するとともに、その中核となる成年後見制度を含め、権利擁護に関わる制度・サービスの内容、組織・団体等について、その活動の実際を含め理解する。

#### 【学習の到達目標】

- ・権利擁護の概念とそれに関わる法（日本憲法の基本原理、民法・行政法の基本概念を含む）について概説できる。
- ・成年後見制度（後見人等の役割を含む）について説明できる。
- ・成年後見制度の実際（成年後見制度利用支援事業等を含む）について概説できる。
- ・権利擁護に関わる組織・団体とその役割について説明できる。
- ・虐待や認知症などの支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について概説できる。

#### 【授業形態】

講義を中心に、一部、演習を交えて学習する。

#### 【履修上の注意】

- ・参考文献に挙げた図書等で各授業内容に関連した事項を調べ、基本的知識を整理したうえで授業に臨むこと。

#### 【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	12/9（水）1-2限	オリエンテーション・権利擁護の概念・活動と法（大内）	日本国憲法における人権・社会権に関する規定および民法における契約の概念について整理しておく。
2	12/16（水）1-2限	成年後見制度と成年後見制度利用支援事業（大内）	法定成年後見制度と任意後見制度について調べ、その違いを整理しておく。
3	12/23（水）2限	権利擁護に関わる組織・団体の役割（中村）	地域包括支援センターなど、権利擁護に関わる組織・団体にはどんなものがあり、どのような活動を行っているのか、整理しておく。
4	1/13（水）2限	権利擁護に関わる専門職の役割（高橋）	認知症患者等の意思（自己）決定を支援するための基本的考え方とその際の専門職の役割について調べ、要点を整理しておく。
5	1/20（水）2限	成年後見・権利擁護活動の実際1（池田）	これまでの授業で生じた権利擁護、成年後見に関する取組みについて、実際面での疑問点等を整理しておく。
6	1/27（水）2限	成年後見・権利擁護活動の実際2（池田）	成年後見利用促進法の内容と、実際に行われている対応について調べ、要点を整理しておく。
7	2/3（水）2限	まとめと筆記試験（大内）	これまでの授業内容を復習・整理しておく。

#### 【成績評価の方法と基準】

筆記試験（選択式および記述式）（90%）および学習態度（10%）により総合的に評価する。

#### 【使用テキスト】

指定しない。

#### 【参考文献】

社会福祉養成講座編集委員会 編「権利擁護と成年後見制度」中央法規出版（2,200円）

科 目 名：歯科衛生士臨床実習Ⅱ

担 当 教 員：柴田 佐都子、葭原 明弘、山崎 和久、小野 和宏、大内 章嗣、吉羽 邦彦、黒川 孝一、米澤 大輔、諏訪岡 加奈、小田島 あゆ子

開 講 番 号：200DA320

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：口腔生命福祉学科3年生

#### 【科目概要】

臨床歯科衛生に関する理解と実践のために、病院の外来において見学および実技に係わる実習を行う。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

#### 【科目のねらい】

4年次の臨床実習における歯科保健指導・歯科予防処置・歯科診療補助を効果的かつ円滑に行うために、これまでの学習と臨床の実践を統合し、医療者として必要な知識・技術・態度を習得する。

#### 【学習の到達目標】

- ・診療科の診療の手順を説明する。
- ・診療科の診療に必要な器具・器材を列举する。
- ・診療科の診療の歯科診療補助内容を説明する。
- ・診療科の診療システムについて説明する。
- ・診療科の診療環境および器材等の配置を述べる。
- ・患者と適切にコミュニケーションをとる。
- ・歯科外来の多職種と適切にコミュニケーションをとる。
- ・患者の医療ニーズを把握する。
- ・診療または処置に必要な情報を収集する。
- ・診療または処置において収集した情報から診療・処置の準備を行う。
- ・診療または処置において収集した情報から診療補助・処置を実施する。

#### 【授業形態】

講義・実習と臨床との統合を目的として、臨床における知識・技術の習得に加え医療従事者に求められる倫理観やコミュニケーション能力を養成するために、医歯学総合病院の9診療科（各3日間）において実習を行う。

#### 【履修上の注意】

4年次臨床実習の予備実習となるため、9診療科3日間の実習を必須とする。体調不良等により欠席した場合は、当該診療科の担当教員と相談のうえ、予備日で実習を行う。

#### 【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/1（木）1-2限	歯科外来診療科における臨床実習のオリエンテーション（歯科外来診療科：予防歯科、歯周病科、お口の健康室、歯の診療科、冠・ブリッジ診療科、義歯診療科、小児歯科、矯正歯科、口腔外科、看護部、歯科衛生部門）	詳細は初回オリエンテーション時に指示する。
2	10/5（月）1-2限	実習要綱のスケジュールに従って、9診療科・3日間の実習を行う。	各診療科の準備学習として、下記テキストおよび実習要綱の要点を確認する。 [予防歯科、歯周病科、お口の健康室] テキスト予/保Ⅲ-Ⅳ編 テキスト歯周Ⅱ1章編①-③、5章①-④・⑥、Ⅲ編1章①-④・⑥-⑧ [歯の診療室] テキスト保存Ⅱ-Ⅲ編 [冠・ブリッジ/義歯 診療科] テキスト補綴Ⅱ-Ⅲ編 [小児歯科] テキスト小児Ⅱ-Ⅲ編 テキスト障歯2-6章 [口腔外科] テキスト口外Ⅲ編 [矯正歯科] テキスト矯正Ⅱ-Ⅲ編 [9診療科] テキスト補助Ⅰ編2-5章、Ⅱ編1章

3	10/8 (木)	1-2 限	実習要綱のスケジュールに従って、9 診療科・3 日間の実習を行う。	各診療科の事前学習用テキストおよび実習要綱の要点確認
4	10/12 (月)	1-2 限	〃	〃
5	10/15 (木)	1-2 限	〃	〃
6	10/19 (月)	1-2 限	〃	〃
7	10/22 (木)	1-2 限	〃	〃
8	10/26 (月)	1-2 限	〃	〃
9	10/29 (木)	1-2 限	〃	〃
10	11/2 (月)	1-2 限	〃	〃
11	11/5 (木)	1-2 限	〃	〃
12	11/9 (月)	1-2 限	〃	〃
13	11/12 (木)	1-2 限	〃	〃
14	11/16 (月)	1-2 限	〃	〃
15	11/19 (木)	1-2 限	〃	〃
16	11/26 (木)	1-2 限	〃	〃
17	11/30 (月)	1-2 限	〃	〃
18	12/3 (木)	1-2 限	〃	〃
19	12/7 (月)	1-2 限	〃	〃
20	12/10 (木)	1-2 限	〃	〃
21	12/14 (月)	1-2 限	〃	〃
22	12/17 (木)	1-2 限	〃	〃
23	12/21 (月)	1-2 限	〃	〃
24	12/24 (木)	1-2 限	〃	〃
25	1/7 (木)	1-2 限	〃	〃
26	1/14 (木)	1-2 限	〃	〃
27	1/21 (木)	1-2 限	〃	〃
28	1/25 (月)	1-2 限	〃	〃
29	1/28 (木)	1-2 限	実習調整日	〃
30	2/1 (月)	1-2 限	〃	〃

**【成績評価の方法と基準】**

診療室の指導者による臨床実習日誌（体験レポート）に基づく臨床実習の課題評価（100%）により評価する。

**【使用テキスト】**

全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版（7,600円）：予/保  
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 小児歯科」医歯薬出版（3,000円）：小児  
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」医歯薬出版（3,000円）：補綴  
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」医歯薬出版（3,400円）：口外  
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯周病学（第2版）」医歯薬出版（3,400円）：歯周  
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論（第2版）」医歯薬出版（6,000円）：補助  
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」医歯薬出版（4,200円）：保存

**【参考文献】**

全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正」医歯薬出版（3,300円）：矯正  
 全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 障害者歯科（第2版）」医歯薬出版（2,400円）：障歯  
 公益社団法人日本歯科衛生士会 監修「歯科口腔保健の推進に向けて ライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック」（3,600円）